

演劇・ダンス事業 KAVC FLAG COMPANY 2019-2020
演劇ツアー公演 3 回め コトリ会議 「セミの空そらの空そら」

「KAVC FLAG COMPANY 2019-2020」公演第四弾！
寓話的設定と、軽妙で詩情のあるセリフ。音に集中させる演出は必見。

神戸アートビレッジセンター [KAVC] (神戸市兵庫区、指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団、館長：大谷燦) は、「KAVC FLAG COMPANY 2019-2020」の第四弾公演として、コトリ会議(ことりかいぎ)「セミの空(そら)の空(そら)」の公演を開催します。

「KAVC FLAG COMPANY」は、舞台芸術分野における KAVC の年間プログラムとして、2019 年より新たに始める舞台芸術セレクションです。アーティストと劇場が協働して多様な舞台表現を生む“創る劇場”を目指し、その基盤をつくるべく本企画を始動いたしました。初年度となる今回は、舞台芸術プログラム・ディレクターのウォーリー木下氏がセレクトした、関西を拠点に意欲的な作品を発表している 7 つの劇団の演劇公演を、当センター KAVC ホールにて、一年を通して上演いたします。

コトリ会議は、俳優 / 演出家 / 脚本家の山本正典を中心に 2007 年結成。SF やサスペンスなど寓話的な設定を用いることで、現代社会における弱者の問題を隠しつつしみ出る戯曲と、笑えて軽妙で詩情のあるセリフによって、音に集中させる、テンポとボリュームを操る演出を得意とする劇団です。

本作品は、OMS 戯曲賞佳作を受賞した『あ、カッコンの竹』にある SF 的な要素を抑えつつ、人と人の関係性を戯曲により深く書き込み、創作した作品です。客演には、CoRich 舞台芸術まつり！ 2018 春・グランプリを受賞し、コトリ会議に 3 回目の出演となるオパンボン創造社の野村有志、前回ツアーから連続出演する京都を拠点に活動する中村彩乃、初参加の浜本克弥(小骨座)の 3 人を迎えます。

なお本公演は、神戸アートビレッジセンターでの神戸公演を皮切りに、東京公演(こまばアゴラ劇場)、久留米公演(久留米シティプラザ)へのツアーが決定しております。

公演日：
2019 年 11 月 15 日(金)～11 月 18 日(月)

11 月 15 日(金) 15:30 / 19:30

11 月 16 日(土) 11:30 / 19:30 ★

11 月 17 日(日) 11:30 / 15:30

11 月 18 日(月) 15:30

※受付開始は開演の 45 分前、開場は開演の 30 分前

★：アフタートークあり

ゲスト：柴幸男(劇作家・演出家・ままごと主宰)

会場：神戸アートビレッジセンター KAVC ホール

全席自由席 チケット 9/14 (土) 10:00～販売開始

一般前売 2,700 円 / 一般当日 3,000 円

22 歳以下 2,000 円 / 高校生以下 1,000 円 / 近畿 2 府 4 県以外割 700 円

作・演出：山本正典

出演：牛嶋千佳、三村るな、まえかつと、野村有志(オパンボン創造社)、
 中村彩乃(安住の地/劇団飛び道具)、浜本克弥(小骨座)


撮影：山口真由子

会場・お問合せ：神戸アートビレッジセンター(指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団) 担当 竹下・野澤

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356

※取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

作品について - コトリ会議・山本正典より

いっとき、公共広告機構のCMで流れていたものです。スクランブル交差点をたくさんの人が行き交う中で、背広を着た大人同士が肩をぶつける、片方の大人は足を止めて、ムツとした表情で振り向くんです。すると、肩をぶつけたもう片方の大人も足を止めていて、こちらに向かって「ごめんね」とジェスチャーする。そうなるとムツとしていた大人も表情を崩して会釈する、えいしー、というやつなんです。皆さんご存知ですか？僕もうテレビはあれだけを流していただければそれだけでいいんでなからかというくらい感動したCMなんです。なんでずっと流さないんだろう。テレビがやってくれないなら演劇でやれるかな。交差点で大人達は肩をぶつける、謝る、それぞれの生活へ、またぶつける、謝る、それぞれの生活へ、2時間弱繰り返す。え、すごく面白い演劇なんだけどいや違うくて、他人を、1人の誇りを持った人間として見ているのか私はあなたは、スクランブル交差点で、満員電車で、ということなんだけどな。「人」という漢字は支え合って出来ている、というのは分かっているんです、じゃあ人は人のどの部分を使って他人と支え合うのかな。分かんないよね。分かんない時は演劇を使おう。えいしー

作・演出：山本正典

出演：牛嶋千佳、三村るな、まえかつと、野村有志（オパンボン創造社）、中村彩乃（安住の地 / 劇団飛び道具）、浜本克弥（小骨座）

舞台監督：柴田頼克（かすがい創造庫）

小道具：伊達江李華（小骨座）

音響：佐藤武紀

衣装：松崎雛乃

照明：石田光羽

宣伝美術：小泉しゅん（Awesome Balance）

演出助手：要小鮎

イラスト：牛嶋千佳

美術：竹腰かなこ

制作：若旦那家康

主催 コトリ会議

共催 神戸アートビレッジセンター [KAVC]（指定管理者：神戸市民文化振興財団）〈神戸公演〉
久留米シティプラザ〈久留米公演〉

提携 (有)アゴラ企画・こまばアゴラ劇場〈東京公演〉

団体からのコメント

劇団員の半分は兵庫県民なので参加できることを喜んでいます。「音で楽しむ演劇」「耳を澄まして観る作品」と評されることが多く、2019年2月に行った初めての福岡公演での現代劇でも同様に評価していただけたので、それを踏まえて、自信を持って人と人がつくり出す機微を描いていこうと思います。そして神戸を皮切りに東京公演と、1～2都市のツアーを予定していますので、神戸から始まる作品を全国に伝えていきます。



コトリ会議 プロフィール

2007年結成。SFやサスペンスなど寓話的な設定を用いることで、現代社会における弱者の問題を隠しつつ滲み出る戯曲と、笑えて軽妙で詩情のあるセリフによって、音に集中させる、テンポとボリュームを操る演出を得意とする。シアトリカル應典院演劇祭「space×drama2010」優秀劇団を受賞。2016年に地方3劇団協働でおこなった「対ゲキツアー」以降、ツアー公演を主にした本公演、イベント的な小規模公演、演劇祭に参加する際の神出鬼没な小作品など規模によって変幻自在な活動をしている。作家・山本正典の受賞歴として、2018年に第9回せんがわ劇場演劇コンクール劇作家賞、第25回OMS戯曲賞佳作を受賞。

<http://kotorikaigi.com>

会場・お問合せ：神戸アートビレッジセンター（指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団） 担当 竹下・野澤
〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356

※取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。